

The formation of a bud begins with the division of the hypodermal green cells. This is followed by the division in cortical and epidermal cells, which gives rise to the outgrowth of a small hemispherical mass of meristematic tissue, i. e. of an incipient bud. It later becomes a small inflorescence forming numerous floral primordia. Sometimes many secondary adventitious buds also develop on the stem of the elongated primary adventitious floral shoots.

The differentiation of vascular tissue in the adventitious bud takes place basipetally. Consequently the new vascular tissue in young buds at first makes no connection with that of parent shoot, but later the new and the parental vascular tissue connect with each other.

□ L. R. Hesler: **Mushrooms of the Great Smokies** (1960) Univ. Tennessee Press 289 pp. \$ 5.5

アメリカ合衆国のテネシイと北カロライナ州境に沿って広大な面積を占めているグレートスモーキー山岳国立公園は山、溪谷、河、湖などの地形の変化に富み、モミヤトウヒ類の森林が広がり、雨量も多いため、冬季を除いてはキノコの種類が沢山発生するという。テネシイ大学教授である著者はこの地に遊ぶアマチュアを対象としての野外観察の手引を編んだ。紹介されたキノコの中にはこの地に特有のもの或はせいぜい南アパラキアにのみ分布するものもあるが、多くは広い分布のもので日本を含め世界に共通のものが多し。本書は第1部 Mushrooms in Nature, 第2部 M. in the Park に分け、前者では自然の概況、キノコの形態、食毒性、仙女の輪、菌根、発光性、其他を手際よく説明し、第2部に広い意味のマツダケ科のキノコ 30 属、其他の大型菌類 18 群を紹介し、各項に属の特徴、主な 183 種の索引、記載を平易に、興味深く記している。末尾に主な用語と参考書目録が添えてある。特に素晴らしいのはこの 300 頁足らずの書にオールアート 200 枚余の鮮明な実大或は少しく縮小したキノコ写真が並んでいることである。つまりこれは立派な図鑑である。装釘も美しい。さて小林が特に本書を推す理由は著者が“Some people play golf.....I study mushrooms.....That's my golf”と記した気持ちから判るようにキノコ観察の面白さを同公園に杖をひく一般の人々にも伝えたいという親切心が本書にあふれていることと、同様な自然紹介の企画が日本の国立公園などでもっと行われてもよからうと思ったからである。それも老先短いゴルフ族や、自然を荒すバイク、カミナリ族などはどうでもよい、将来性のある若いハイカー達のために。さすがにアメリカでも本書の如きものの出版は有利ではないと見えて、特別のファンドによったことが記されてある。(小林)